

# 第82回企画展

## なつかしい昭和初期の食と道具

～昭和初期の食卓の風景～



令和元年10月6日（日）～令和2年1月31日（金）

岩手県立農業ふれあい公園 農業科学博物館

私たちは、昔から作物を栽培し、食べやすくするための煮炊き、長期間保存するための加工などを工夫を凝らして行っており、そのために様々な道具を発明、改良してきました。

現代の私たちは、調理技術、輸送、流通の発達のお陰で、コンビニやスーパーに行けば世界中の食材はもとより、弁当、総菜や加工品、飲料などほとんどの『食べ物』を入手出来るようになっていきます。

このため、味噌、醤油や豆腐などを自宅で加工することは大幅に減ってきています。

また、調理や加工に使う道具はかつては木製の手作りのものが主でしたが、今はプラスチックやステンレスなどの工業製品になっています。

さらに、食事の内容のみならず食事の風景も変わってきています。

企画展では、昭和の初め頃の食にまつわる道具を紹介します。



かて切り機



鬼おろし



羽釜



箱



膳

岩手県立農業ふれあい公園

## 農業科学博物館

北上市飯豊 3-110 TEL:0197-68-3975

開館時間／9:00～16:30(入館は16:00まで)

休館日／月曜日(月曜日が祝日の場合は直後の平日)

入館料／一般300円 学生140円 高校生以下は無料

団体割引等(20名以上)があります

駐車場／大型バス12台 普通車240台 身障者専用5台